



B U D O U
Alumnae association bulletin

2018

**I am the vine,
you are the branches.**

john 15:5





会長 挨拶



同窓会会長
伊藤 和子
(S46年高卒)

いつも天を仰ぎ 感謝を忘れず

明けましておめでとうございます。

本年も気持ちを新たに年が明けて、皆様にご挨拶を申し上げます事、心より嬉しく感謝を致します。同窓会は、皆様のご協力とご支援のお陰で活動できます事、感謝でございます。そして、昨年は九州北部豪雨の被害に多くの方々が遭われ、心よりお見舞いを申し上げます。早い復興をお祈り申し上げます。

さて、少し前になりますが、老人ホームにハンドベルの演奏で慰問に伺った時のことです。

車椅子やベッドのまま運ばれて待つておられる方々、そして待ちきれず大声で「まだ、始まらないのか」と…少しお元気な方々はベルを叩いて、又一緒に歌を歌って戴いたり、ふと気が付くと前に座っておられる方々が目に涙を溜めて「良かった、良かった」と、誉めて下さいました。最後に握手をしてお別れをしました。私達は、少しでも入院中の方々に元気をお分けしたい、努めて明るく振る舞おうとしていましたが、かえって

私達の方が元気を頂き、たくさんの笑顔を頂きました。音楽を通して心が通った瞬間でした。多くの時間を使い練習を重ね準備してきた事が報われ喜び感謝でいっぱいでした。

世の中には素敵な言葉があります。人間には二つの寿命があり、寿命の一つは自分の為だけの命としての寿命。もう一つは人間でなければ出来ない事に使われる寿命。

星野富弘さんの「はなしようぶ」の中に、黒い土に根を張り、どぶ水を吸って何故きれいに咲けるのだろうか。私は大勢の人の愛の中にいて、何故醜い事ばかり考えるのだろうか。

渡辺和子さんは、天のお父様、どんな不幸を吸っても、吐く息は感謝でありますように。全ては恵みの呼吸ですから。

同窓会活動も時には、なかなか難しいものがあります。一人一人違って、その中でお互いを受け入れ心を開いて許し合う、その様な活動となりますよう、今後身を引き締め励んでまいります。更なるご支援ご理解を宜しくお願い申し上げます。

CONTENTS

同窓会会長挨拶	1	教養講座グレープ・ガーデン 報告・次回予告	13
2018年度福岡女学院同窓会総会	2	ミッションサポートからのご案内	13
2017年度同窓会総会報告・同窓会本部	3	50年目の卒業式	14
会計報告	5	25年目の同窓会	14
支部だより・2017年度支部総会報告	7	卒業生の皆様へ 吉田修作先生 最終講義のお知らせ	14
活動報告・オリブの会	9	Mission Family(聖福寮)	15
バザー報告・グッズ紹介	10	中学校・高等学校の入学特別選考について	17
短期大学および大学卒業生の集い	11	逝去	17
看護シミュレーション教育センター開設1周年を迎えて	11	福岡女学院の“新たな歴史”の発掘を目指して	18
音楽科卒業生会	12	イベント案内	19
お仕事会報告	12	編集後記	19

創立133周年 2018(平成30)年度

福岡女学院同窓会総会



おかえりなさい、
女学院へ。

新しく形成されたユダヤ民族が「愛と平和」を求める神の統治の下で、人としての生き方を定め、道徳法が「十戒」です。前半の戒めは、人は自分のために自分の望むような神を作ってはならない。人は高慢にならず謙遜であること。後半の5つは、同時代に生きる人としての人間関係の倫理の戒めです。これら前後をつなぐのが「父母を敬え」という戒めです。世代を超えて規則正しい継続なくしてその共同体の維持発展は望めないということ。福岡女学院も例外ではありません。自分に都合よく、好き嫌いで物ごとや人を見るのではなく、神の目を持って見、神の耳を持って聞き、神の心を持って判断し、神の願う「愛と平和」を世代を超えて継承する、そのために私たちは日々聖書を学び礼拝を守っているのです。同窓会は時代が変わっても女学院の精神と伝統を世代を超えて伝え続けています。福岡女学院の維持、発展に欠くことの出来ない同窓会の増々のご活躍を祈っています。



齋藤 武

福岡女学院院長特別補佐・チャブレン

日時: 2018年5月17日(木)
午前11時～午後3時

場所: ソラリア西鉄ホテル

会費: 7,000円
80歳(S31年高卒)以上の方 5,000円・新卒の方 3,000円

当番学年: H3年高卒・H5年短卒・H7年大卒

チラシ(裏面)の振込用紙にてお申し込みください。





2017年度同窓会総会報告

【第一部】礼拝・総会

2017年5月17日(水)ソラリア西鉄ホテルにて開かれました。

昨年は150名の方々の出席があり、その中の35名が80歳を超えられる先輩方で、いつもながらそのお元気なお姿にふれることができ、大変嬉しく思います。

奨励は院長特別補佐の齋藤武先生に「世代をこえて」というテーマでお話をさせていただきました。

その後、須藤敬子さん(S55年高卒・S57年短卒)の開会の言葉で幕を開け同窓会会長の伊藤和子さん(S46年高卒)による挨拶、境紀子さん(S51年高卒)元山香織さん(S59年高卒・S61年短卒)の議事進行のもと、議事案は全て承認されました。

今回は、役員が新しく4名が選出されました。



総会プログラム

【第二部】懇親会

懇親会は、恩師の原恭子先生、田中博文先生をお迎えして中学校長の藤義幸先生の乾杯で始まりました。

ホテル料理長の力の入ったお料理と、当学年年の森田美樹(H2年高卒・H5年短卒・H7年大卒)の司会進行のもと、丸山万希(H2年音卒)松本裕子(H2年音卒)のピアノ連弾、また、関東支部合唱団コール・クレール&葡萄による素晴らしい合唱がありました。

会の最後は出席者全員で、「創立記念日の歌」、「ハレルヤ」の合唱で2017年度の総会は盛況に終わりました。



同窓会本部

会長 伊藤 和子さん (S46年高卒)	会員 中野真理子さん (S45年短卒) 角 静香さん (S46年高卒) 月野木直子さん (S60年音卒) 高田千寿子さん (H11年高卒)	活動推進 藤原 京子さん (S43年音卒) 小串 洋子さん (S42年高卒・S44年短卒) 稲原しのぶさん (S54年高卒) 弥永美保子さん (S55年高卒)
副会長 高田 典子さん (S53年高卒) 須藤 敬子さん (S55年高卒・S57年短卒)	広報 末吉 恵子さん (S60年音卒) 岩瀬 由美さん (S56年高卒) 森 奈都美さん (S58年高卒・S60年短卒) 古賀真理子さん (H5年高卒)	監査 花田 尋美さん (S61年短卒) 赤間 有美さん (H2年高卒・H4年短卒)
書記 山田 恵美さん (S57年高卒)	財務 前田三枝子さん (S41年高卒) 日下部千春さん (S59年高卒)	事務局 藤 良香さん (S53年高卒)
総務 水田 美絵さん (S54年高卒) 前田三枝子さん (S41年高卒) 高木 文さん (S52年短卒) 時政 洋子さん (S54年高卒) 高尾 直美さん (S57年高卒)		



同窓会役員推薦のお願い

同窓会では今年度の総会にて任期満了となる役員の後任候補者の推薦をお願いいたします。創立133年を迎える母校をさらに盛り立てていくためにも、同窓会にお力添えをいただけますよう、お願い申し上げます。

(会則 第13条3項)

応募方法

- 卒業年度(中・高・短・大・看)
- 卒業時氏名
- 現氏名
- (所属協会がある方は教会名)
- 電話番号

以上明記の上、封書にて郵送お願い致します。

期限

平成30年1月19日(金)必着

備考

- ・任期は2年。再任は妨げない。(連続3期まで)
- ・自薦、他薦を問わない。

お問い合わせ・
送付先

〒811-1313 福岡県福岡市南区日佐3-42-1
福岡女学院同窓会事務局 選考委員会 宛
TEL/FAX (092)575-2479



当番学年
より

創立132周年の創立記念日の同窓会総会に、平成2年高校、平成4年短大、平成6年大学卒業の総勢22名の当番学年で微力ながらお手伝いを担わせていただきました。

私たちは、創立100周年を中学2年で迎え、大学開学の年に一期生として入学する、という福岡女学院の歴史の節目に期せずして関わる事ができた学年です。いつまでも輝き続ける母校が当たり前のこと、と考えておりましたが、来賓の皆さまや昨年より中高校長となられた恩師の藤先生のお話を伺い、現在の状況や課題、これからの展望にみんで一喜一憂する場面もございました。

懇親会では、恩師の原恭子先生、田中博文先生、そして藤義幸校長先生とテーブルを囲み、懐かしい昔話に花が咲きました。

そして、同級生の丸山万希さん、松本裕子さんのピアノ演奏やコール・クレールの先輩方の若々しい歌声で盛会となりましたことを大変嬉しく思います。

第二部の開催にあたりましては、一昨年の夏より同窓会事務局、総務の皆さまにご指導を仰ぎながらの準備作業を経て、当日は先輩方、学院関係の皆さまの心温かいお言葉やお気遣いに励まされて、無事にお役目を終えることができました。

これからも福岡女学院につながる葡萄の枝として、母校と同窓生、在校生の皆さまの上に神様の平安が注がれますようにお祈りいたします。まことにありがとうございました。



当番学年：H2年高卒・H4年短卒・H6年大卒

会計報告

■ 資産の部

2016年3月31日 残 215,583,325 円
2017年3月31日 現在 220,011,030 円

■ 会費会計／収入の部

収入 入会金 2,250,000 円
会費 19,240,000 円

■ 会費会計／支出の部

支出 運営会計へ 16,558,682 円

21,490,000 円

2016年度運営会計決算

■ 運営会計／収入の部

(単位：円)

	2016年度予算	2016年度決算	予 算 比	備 考
会費会計より	16,558,682	16,558,682	0	
受取利息	0	2,285	-2,285	預金利息
雑収入	100,000	68,512	31,488	寄付金、バザー出店料
イベント収入-総会費	1,300,000	1,100,000	200,000	総会チケット代
イベント収入-グッズ	1,000,000	762,150	237,850	グッズ収入
収入合計	18,958,682	18,491,629	467,053	
前期より繰越	3,261,318	3,261,318	0	
合計	22,220,000	21,752,947	467,053	

■ 運営会計／支出の部

(単位：円)

	2016年度予算	2016年度決算	予 算 比	備 考
総務部費	2,200,000	1,914,611	285,389	総会費用
会員部費	1,120,000	883,157	236,843	ホームカミング開催費、卒後50年招待費、卒後25年同窓会支援費、クリスマスカード代、入会記念品費他
活動推進部費	1,200,000	673,672	526,328	グッズ関連費、バザー開催費他
広報部費	3,760,000	3,584,983	175,017	会報「ぶどう」発行費、「同窓会のしおり」印刷代他
活動費-代表部門費	220,000	132,554	87,446	教養講座「グレープ・ガーデン」開催費、部会参加費、役員歓送迎会費用、熊本支部会員へのお見舞い郵送代他
支部関連費	1,895,000	1,920,932	-25,932	支部支援金、支部長会開催費、支部総会参加費・交通費他
支援金(学院・会員)	925,000	881,530	43,470	支援金(学年同窓会・中高生徒会・大学校友会・看護大学友会・卒業生合唱団「葡萄」・メサイア)他
会議費	100,000	75,491	24,509	コーヒー代他
給与費	4,150,000	4,112,775	37,225	給与事務局3名分(交通費、社会保険料含む)
コンピューター関連費	960,000	365,828	594,172	機器リース料、メンテナンス料、コピー料、ホームページ製作費、会員管理システムカスタマイズ料他
旅費・交通費	280,000	225,740	54,260	役員交通費他
通信費	320,000	256,331	63,669	電話代、郵便代、振込料他
雑費	450,000	450,802	-802	税理士報酬、役員保険料、図書購入費他
消耗品費	210,000	180,108	29,892	事務・衛生用品代他
設備・営繕費	380,000	336,728	43,272	ピアノ調律代、中庭ガーデニング整備費、デジタルワイヤレスシステム費用
慶弔費	50,000	0	50,000	
学院支援積立金	3,000,000	3,000,000	0	熊本地震募金(100万円)、ギール記念講堂補修費用寄付金(200万円)
予備費	1,000,000	0	1,000,000	
合計	22,220,000	18,995,242	3,224,758	
次期繰越		2,757,705		
合計	22,220,000	21,752,947		

2017年4月20日監査の結果、相違のないことを認めます。(監査)

2017年度運営会計予算

■ 運営会計 / 収入の部

(単位：円)

決算費目		
会費会計より	14,271,295	
受取利息	3,000	受取利息
総会会費	1,340,000	総会チケット代
グッズ売上	1,000,000	グッズ売上金
寄付金	30,000	バザー出店料他
前期より繰越	2,757,705	
	19,402,000	

■ 運営会計 / 支出の部

(単位：円)

決算費目		備考
総務部費	2,050,000	総会費用
会員部費	1,000,000	ホームカミング開催費、卒後50年招待費、卒後25年同窓会支援費、入会記念品費他
活動推進部費	205,000	バザー開催費、教養講座「グレーブ・ガーデン」開催費他
広報部費	3,820,000	会報「ぶどう」発行、「同窓会のしおり」印刷代他
活動費	350,000	役員活動費、会長・副会長活動費
支部関連費	2,105,000	支部支援金、支部総会参加費、支部長会開催費他
支援金(学院・会員)	940,000	支援金(学年同窓会、生徒会、学友会、メサイア、各部会他)
事務関連費	4,700,000	事務局給与、交通費他
コンピューター関連費	900,000	機器リース料、コピー料、ホームページ関連費、会員管理システムカスタマイズ料他
通信費	230,000	電話代、郵便代他
雑費	752,000	グッズ製作費、税理士報酬、保険料他
消耗品費	550,000	事務・衛生用品代他
設備・営繕費	250,000	中庭ガーデニング整備費、ピアノ調律費他
慶弔費	50,000	
支援積立金	1,000,000	
予備費	500,000	
合計	19,402,000	

※支援積立金について

本年度より、グッズ利益や寄付金は、支援積立金として積立をする。この積立金は、学生への支援や学院支援等、必要に応じて役員会で協議して使用する。

財務部より

同窓会会員の皆様からの貴重な会費を同窓会活動の運営と学院の発展のために、大切にに使わせていただいております。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

同窓会の財政基盤である会費収入が、ここ数年、毎年減少してきています。未納の方は会費納入のご協力をお願いいたします。

[同窓会会費納入にご協力を!!]

会費の振込は次ページの振込用紙をご利用ください。この振込用紙は同窓会会費専用の振込用紙ですので、他のお支払いにはくれぐれも利用されないようお願いいたします。同窓会会費は1口1,000円ですが、1,000円から何口分でもお支払いいただけます。満期は50口です。会報「ぶどう」の送付の際の宛名ラベルシールの左下に数字が記載されている場合は、会費の満期までの口数となります。何も記載されていない場合には完納されている方です。

郵便振込口座番号 01790-4-19034 福岡女学院同窓会

■ 満期までの口数(残)

2017年11月末現在
完納された方にはこの数字が入っていません。

(例)この場合は満期(額)に対して21口分(21,000円)残っています。
※1,000円から何口分でもお支払いいただけます。

ご不明な点は同窓会事務局までお尋ねください。
(TEL&FAX 092-575-2479)

宛名ラベルシール

〒811-1313
福岡県福岡市南区日佐3-42-1

福岡 花子 様

21

29990013

■ 会員No.

氏名の漢字表記について

氏名の表記でシステムの都合上、旧字体など表示できない場合がございます。その場合は代替文字で表記させていただきます。ご了承ください。

例: 吉→吉 辻→辻

ご住所のお届けについて

卒業後の住所のデータ管理は同窓会事務局にて行っております。同窓会へのお届けの住所、氏名等に変更がある場合には必ずご連絡ください。住所変更はホームページからでもできます。

同窓会事務局 TEL&FAX092-575-2479 ホームページ <http://www.fukujo.ac.jp/alumnae/> E-mail alumnae@fukujo.ac.jp

支部だより

2017年支部総会学院関係出席者

支部名	支部総会出席者
北九州支部	十時理事長・寺園院長・片野看護大学学長・藤中高校長・西原本部事務局長
広島支部	十時理事長・西原本部事務局長
関東支部	十時理事長・寺園院長・西原本部事務局長・齋藤院長特別補佐・西山局次長
中部支部 関西支部	十時理事長・片野看護大学学長・齋藤院長特別補佐・西山局次長・大島部長・藤井室長
熊本支部	十時理事長・西原本部事務局長
大分支部	十時理事長・丸野部長
筑後南支部	十時理事長・藤中高校長・西原本部事務局長
長崎支部	十時理事長・藤中高校長・大島部長
鹿児島支部	開催なし

※中部・関西支部 合同開催

10月20日(金) 明治記念会館にて

関東支部同窓会総会は、2017年10月20日(金)83名の参加者で開催しました。
 厳しい参加者数で今後の支部存続が難しいです。振り返りますと、1990～04年迄は230名前後、2005～13年迄は130名前後、2010年の100周年は400名近い参加者でした。少なくとも110名程の参加者を願っておりますが難しい状況です。
 この状態を打破する為に特別委員会を設置し、計6回の会議を行い、今後支部存続が可能か不可能かの結論を出していきたいと思っています。関東支部同窓会総会とクリスマス会合同開催の提案もあります。
 皆様の協力を願っております。

関東支部
(2,014名)
有森直子(S42年高卒)



10月3日(火) ステーションホテル小倉にて

支部会員14名、支部外会員6名、同窓会本部4名、学院より7名の先生方にご参加頂き支部総会を開催致しました。

自己紹介では、次々と繋がるご縁に話が弾み、女学院ファミリーの絆の強さを改めて感じるひと時となりました。この葡萄の大木がしっかりと根を張り種々の枝を育てていってほしいと願いつつ、北九州支部の一枝もご縁を紡ぐ憩いの場となりますよう、次年度10月1日の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

支部名(支部会員数)
支部長名(卒年)



北九州支部
(1,524名)
横田純子(S44年高卒)

中部支部
(123名)
平田輝子(S51年音卒)

10月21日(土) リーガロイヤルホテル大阪にて

初めての合同支部総会に、85名のご出席を頂きました。
 立姿にも華やかな香りを感じる有馬稲子さんの特別講演会では、与えられた場に真摯に向き合い、日々学びを怠らず己を律する有馬さんの生き様を、数え歌風にお話くださり、笑い声の絶えない和やかなひと時となりました。

関西支部
(454名)
小川真紀子(S45年音卒)

同窓生の皆様、支部募金箱やサイン本寄付にもご協力くださり感謝致しております。お陰で運営面でも大過なく終える事ができました。



10月7日(土) 於ホテル・グランヴィア広島にて

・第一部 広島ジュニアマリンバアン
サンプルによるコンサート、懇親会
・第二部 総会

ご多用中にもかかわらず、くじ引きで着席して頂きました。福岡女学院本部から、十時理事長、徳永名誉院長、松原名誉理事長、西原本部事務局長、同窓会本部より伊藤・岩瀬・森・藤井様、関西・中部の方々も参加して頂き、とても良い会でしたとお返事を頂き、本部の方々とも今も思い出して、笑顔になれますとのお話を伺いました。

若い学年の方々の出席を希望致しましたが、でも新しい方々との出会いもあり嬉しく思っています。

終りになりますが、どうぞ、女学院の卒業生として、よき交わりがあります様お祈りし申し上げます。

広島支部
(135名)
速水聖子(S27年高卒)



11月18日(土)

ホテルニューガイア オームタガーデンにて

11月18日支部総会を開催でき感謝します。最初に、十時理事長に、「福岡女学院を、名実ともに福岡で一番にします。」と力強い言葉を頂く。皆、聞き入る。次に、西原局長より、向山寮が昔の面影のまま復活するとあり、大賛成です。次に、藤校長のお話を聞き、教育の現場の大変さを又、お忙しい中出席頂き、感謝します。出席者14名と小さな会ですが、感謝しますことは、人と人とのつながりです。参加して下さる皆様のお陰で、和やかに楽しい総会になり、感謝の気持ちで一杯です。



筑後南支部

(633名)

安藤 恭子
(S48年高卒・S50年短卒)

11月4日(火)

ANAクラウンプラザホテル熊本
ニュースカイにて

11月4日ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイにて、熊本支部総会を開催いたしました。

一昨年は、熊本地震のため開催できませんでしたので、二年ぶりの集いでした。

十時忠秀理事長様、西原邦彦事務局長様、伊藤和子同窓会会長様にご臨席頂き16名での和やかな時間を過ごすことができました。

学院の明るいお話しに同窓生も笑顔になり、また参加者 皆が10代の乙女にタイプスリップしたかのようなお話に元気をもらえました。

熊本地震に対しての学院、同窓会からのご支援に感謝すると同時に、『熊本の同窓会は大丈夫です』と確信致しました。

福岡女学院の卒業生であることを皆が誇りに感じたことだと思います。



熊本支部

(657名)

合志 和子(S51年音卒)



12月2日(土)

ホテルニュー長崎にて

長崎支部総会では、お子様2人を含め23名の参加者で開催することができました。

円卓は近い年代の同窓生でしたので、上靴の色や各教科の先生方の思い出話で盛り上がり、同じ空間を過ごした時期を感じることができたことで、嬉しさと懐かしさで涙される方もいらっしゃいました。

また、自己紹介では長崎支部以外の出席者ほとんどが「第2」「第3」の「ふるさと」と思っている長崎に深い縁がある方が集ったことで、葡萄の枝を改めて感じることでできた1日でした。会の終わりには次回もまた出席させて頂きますとのお声を皆さんから頂戴することができ、本当に嬉しく思いました。一人でも多くの方に喜んでいただけますように今後努力して参ります。

鹿児島支部

(422名)※2017年度開催なし
新原 美栄子(S52年短卒)

長崎支部

(707名)

大岩しのぶ(S55年音卒)

11月11日(土)

トキハ会館にて

お天気に恵まれ13回目の支部総会を十時理事長、松原名善理事長、丸野部長、伊藤会長、山田さんにご出席いただき福岡から3名の方と事務局と支部会員10名の計19名で開催いたしました。

自己紹介の時「3つの好きなもの」で息子や家族と言う答えがでて暖かい家庭をのぞき見たようなほのぼのとした気持ちになりました。

今回は10月末になりそうです。たくさんのご参加をお待ちしております。

大分支部

(896名)

安浪 敬子(S41年高卒)



福岡女学院同窓会 2018年度 関東支部総会のご案内

日時 2018年10月19日(金) 11:00~14:30

場所 明治記念会館
東京都港区元赤坂2-2-23

会費 8,000円 +1,000円(支部会費)

関東支部フェイスブック | www.facebook.com/fukujokanto

当番学年: S59年高卒

2017年度 支部長会

2017年5月17日(水)ソラリア西鉄ホテルにて総会后、10支部支部長と本部役員と報告会及び活動方針について討議いたしました。



どの支部会にも参加できますので、同窓会事務局にお尋ねください。

活動報告

- 1 同窓会総会
- 2 支部長会
- 3 支部総会
- 4 創立記念日のホームカミング
- 5 卒後50年の同窓生の卒業式招待
- 6 卒後25年の同窓会開催への支援
- 7 文化祭、講演会、学院行事への協力
- 8 会報「ぶどう」発行
- 9 85歳以上の会員へのクリスマスカード発送
- 10 教養講座「グレープ・ガーデン」開催
- 11 会計処理(予算、決算、監査)
- 12 オリジナルグッズの企画、バザー開催
- 13 役員会
- 14 同窓会開催への支援
- 15 ホームページ管理
- 16 会員情報データ管理



短大・大学の卒業式行事で卒業する学生はガウンを着用しています。ガウンは第1期の卒業生から今まで使用しており、傷んだものが増えてきたので同窓会の手をお借りしたいと、大学学生課から相談を受けました。

同窓会も微力ながらお手伝いが出来ればと思い、参加者を募りました。10月10日(火)～10月13日(金)(4日間)同窓会集会室で28名の参加者の方々とスナップをつけたりガウンの袖をまつり、135枚のガウンの修繕をする事が出来ました。

参加して頂いた同窓生の皆さま、ありがとうございました。



▶ オリーブの会とは

ノアに平和と希望の知らせをもたらした鳩がくわえていたオリーブの葉。卒業式で着用される美しく整えられたガウンは、女学院を巣立っていく学生への同窓会から贈られる希望のプレゼント。学生課と同窓会役員とで一緒に考えて『オリーブの会』と名付けました。(正門前聖書ガーデンにオリーブが植えられています。どうぞご覧ください。)



2017 バザー報告

出店者募集!

今年も創立記念日(2018.5.19(土))に同窓生による出店(出品者本人の手作りに限る)を募集いたします。ご出店品の一部に女学院限定販売を感じさせる物、例えばぶどうや錨、中高制服の色(夏服をイメージするブルーと白、冬服をイメージする紺とエンジ)を使用した物などお願いします。

出店のご希望や詳しい内容のお問い合わせは同窓会事務局(Tel/Fax 092-575-2479)までお申込み下さい。但し、出店料が必要です。(参考価格2017年3,000円)応募が多数の場合は役員会にて検討させていただきます。

応募締切 2018年2月末日

2017年のバザー

学院や同窓会のイベントの際
ミッショングッズの販売やバザーを行っています。

- 2017.3.1 高校卒業50年記念祝会
- 2017.5.13 同窓会ホームカミング
- 2017.5.17 同窓会総会(西鉄ソラリアホテル)
- 2017.9.9 中高「女学院祭」
- 2017.10~12 各支部総会
- 2017.12.15 メサイアコンサート(アクロス福岡)

※利益の一部はバザーの当該部署の支援金とします。
その他は、同窓会運営会計の寄付金の収入とし、用途については役員会で討議いたします。

ミッショングッズのお知らせ

Mission Goods

Fukuoka Jo Gakuin Alumnae Association

同窓生デザインによるグッズも揃えております。

現在販売しているミッショングッズの中には、切り絵はがきやマスクングテープ、一筆箋、封筒、ランチョンマット、ミッションシール等、同窓生の方のデザインが施された女学院をイメージさせるグッズも多数!日常使いや、お友達へのプレゼントにいかがですか?

同窓会では、総会、創立記念日等学院のイベント、各支部総会にてミッショングッズを販売しております。グッズについての詳細は同窓会ホームページをご覧ください。また、同窓会事務局でもお買い求めいただけます。



同窓会サポーター募集!



同窓会の活動のお手伝いをしてくださる「サポーター」を募集しています。女学校、中高、短大、大学、大学院、看護大すべての卒業の方が対象です。

1日だけでも、遠方の方でもOKです。バザーやホームカミングの際には「サポーター」の方々にご協力いただいています。ご自分に合った同窓会や学院へのサポートの方法があると思いますので、まずはご登録をお願いします。サポーターとしてご登録いただける方は、同窓会事務局(TEL&FAX:092-575-2479)までご登録ください。ご協力をよろしくお願いいたします。

短期大学および大学卒業生の集い

2017年8月5日(土)、短期大学・大学卒業生による初の集いを開催いたしました。

当日は、講堂でのチャペルに始まり、第1部 ワークショップ「フルーツデザイン体験」講師・北山恵子さん(H14年短卒)、第2部 昼食を囲んでの懇親会を行いました。

多くの先生方にもご出席頂け、学生時代を懐かしみ、親睦を深めつつも「大学部会」の立ち上げに向けての意志を共有し、高める一日となりました。

今回の一歩を大切に、卒業生への周知等の課題を解決しつつ、進んでいきたいと願っております。



看護シミュレーション教育センター 開設1周年を迎えて

福岡女学院看護大学のシミュレーション教育センターは開設から2017年9月に1周年を迎えました。これまでに延べ5,000人を越える学生がセンターを活用しています。学生たちは、病室を模したシミュレーションルームに感激し、緊張しながら模擬看護体験をしています。また、高機能シミュレーター(模擬人形)の呼吸音や心臓の音に驚きながら、人の身体への関心を深めているようです。シミュレーション教育とは、「実際の臨床場面をリアルに再現し、体験した看護体験とその振り返りを通して専門的な知識・技術・態度を身につけることを目指した教育」です。高度化する医療のなかで看護師に求められる実践能力を育成するための教育方法として現在注目されています。臨床現場での直接患者に援助する機会は限られているため、何度も繰り返し練習できるシミュレーション教育は、模擬実習体験として有効な教育方法であると言われていています。

学生は、緊張の中でシミュレーション体験し、グループによるディブリーフィング(振り返り)を繰り返す中で、患者の示した反応について真剣に話し合い、調べ、「知りたい」という意欲を掻き立てられています。ディスカッションで疑問が解決すると、これまで学んだ知識と実践がつながり「なっとく」する表情を見せます。このようにシミュレーション教育は、実践を通して知識・技術・態度を統合する機会となっています。



手術を受けた患者さんのケア場面。心拍数や呼吸や血圧を教員がコントロールルームから変化させ、学生がそれに対応した処置をしている。

このような教育が実践できる本センターの特徴は、看護に特化したシミュレーションセンターとして九州最大規模の施設であり、「集中治療室(ICU)」「一般病室」「分娩室」「在宅看護室」を再現したシミュレーションルームを備え、100名の学生が一斉に演習できるICTを駆使した2つのディブリーフィングルームを完備していることです。このような恵まれた施設は少なく学外からの見学や問い合わせも多くあります。

また、シミュレーション教育を推進するために、シミュレーション教育を協同して考える「実習施設との連携協議会」や「学生とのシミュレーション評価委員会」の開設、シミュレーション教育で学びたい学生により結成された「同好会」も立ち上がりました。そして本学の一番の強みは、本学教員全員が同じ方向でシミュレーション教育に取り組んでいることです。このような本学の強みを活かしながら、将来の看護を担う学生たちに看護の素晴らしさを伝えていきたいと思えます。

(文責:シミュレーション教育学
教授 藤野 ユリ子)



コントロールルームからマジックミラー越しに他の学生のシミュレーション風景を見学している場面

♪ 音楽科卒業生会

水上 史子 さん (S60年音卒)

音楽科卒業生会は52回生を含め、約1,200名の卒業生を輩出しています。今年も年2回(春・秋)の学年代表委員会を行い、様々な意見交換が出来ました。年1回(春)の卒業生通信発行も続いています。2017年7月23日(日)福新樓にて第20回総会・懇親会を開催しました。来賓として藤義幸中高校長、徳永徹名誉院長、新開泉歌音楽科主任、柴本登志男先生、伊藤和子同窓会会長をお迎えし、懐かしく楽しいひとときとなりました。同窓生の協力により、2年ぶりの卒業生会演奏会を8月5日(土)14時あいれふホールにて開催しました。新たなジャンルを含め6組の演奏に豊かな時間を過ごしました。今年も8月4日(土)に卒業生会演奏会を予定しています。音楽科卒業生会はこれからも学院、音楽科の発展を願い応援していきたいと思ひます。



お仕事会 報告

「25年間の感謝を込めて」



お仕事会は、今年の5月の総会、ホームカミングデイのバザーを最後に、閉会する事になりました。長年に渡り、温かく見守り、ご協力下さった同窓生、学院関係の皆様にご心から御礼申し上げます。近年、日本のみならず世界中で災害は大きくなり、援助が求められています。閉会は致しますが、何らかの形で、お役に立てたらと、願っています。

25年間、本当にありがとうございました。

バザー収益金の寄付先

- 卒業生合唱団「葡萄」 2万円
- 中高生徒会 10万円
- 国境なき医師団 2万円
- NPO法人ロシナンテス 2万円
- 福岡女学院クリスマス献金 1万円
- 朝倉地区災害義援金 10万円

グレープ・ガーデン

報告
第23回

「古布に魅せられて」

日時 2017年3月18日(土)

講師 藤崎 節子さん(S32年高卒)

国登録有形文化財である旧家に嫁がれ、伝来の古布と出会い、魅せられたとおっしゃる藤崎さん。古布を再生し、それを活かした数々の素晴らしい作品の誕生にまつわるお話を、スライドを用いながら、お聞かせくださいました。

会場には、貴重な作品もお持ち頂け、その細やかな一針一針の見事な技に直に触れることが許され、目と心を満たさせてもらった、良きひとときとなりました。



予告
第24回

「私のスタンドグラスの仕事」

講師 後藤 ゆみこさん(S54年短卒)

WAVE-Gグラス工場の代表として、幅広くご活躍の後藤ゆみこさんを講師にお迎えいたします。

今回は、福岡女学院同窓会集会室を会場に、講演とワークショップ(スタンドグラス・アロマオイルオーナメント作り)の2部形式で行います。また当日は、ギール記念講堂横の後藤さん制作による作品(平成28年度卒業記念品)もご覧いただけます。是非、お出かけください。



日時 2018年2月17日(土)

会場 福岡女学院同窓会集会室

講演 13:00~13:40

ワークショップ 13:40~15:10

材料費 2,000円

申込み 同窓会事務局 TEL092-575-2479

ミッションサポートからのご案内

プリンティングセンター契約社員 スタッフ募集!

- 職種** 印刷物の製本・内校・検品・梱包等
印刷物作成に関わる業務
Mac、イラストレーターが使える方、
DTPの経験がある方
- 勤務地** 福岡女学院日佐キャンパス内
ミッションサポートオフィス(大学本館1F)
- 時間** 平日9:00~17:00(休憩1時間)
- 応募** まずはお気軽にお電話ください。

お問い合わせ

〒811-1313福岡市南区日佐3-42-1 株式会社ミッションサポート

TEL: 092-575-2551 / FAX: 092-575-2580

営業時間: 平日9:00~12:00・13:00~17:00 定休日: 土日祝日 / 夏季 / 年末年始

派遣登録のご案内

学校法人福岡女学院をはじめとする教育機関での
事務業務やその他一般企業で働きませんか?

ミッションサポートのホームページにある
「派遣登録申込フォーム」よりお申込みください。

随時
受付中

ミッションサポート 検索

対象者別メニュー → 卒業生 → 派遣登録

右のQRコードからもご覧いただけます。



派40-300721

25年目の同窓会



H4年高卒 原口 亜希子

5月13日創立記念日の日に卒後25年を迎えた私達は女学院の校舎で同窓会を行いました。よい天気にも恵まれ、土曜日ということもあり、先生方、卒業生、お子様も合わせて70名近い参加となり、大盛会となりました。

幹事を引き受けたものの右も左も分からず、準備が大変でしたが、久々の再会に25年の月日を感じさせず会つてすぐから楽しく話している同窓生の様子を見て、苦勞が報われた感じがしました。

当時と変わらないメイポールダンスを見た後、先生方のお話、お祈りをした後、会食となりましたが、皆さん、食事もそこそこ当時の話や近況報告などおしゃべりが弾み、時間があつという間に過ぎてしまいました。その間、お忙しい中、時間を見つけて、立ち寄っていただいた先生方がいらつしやる度に、拍手や歓声があがり、大変盛り上がりしました。

高校三年生の時に担任をしていた先生方に、近況だけでなく、当時のこの「黄色の上靴」の学年の印象や思い出をお話していただきました。よくも悪くも「個性的な学年」だったようで、お話を聞きながら、懐かしく思う反面、気恥ずかしい気持ちにもなりました。

最後の方では、藤校長先生や二田先生がお見えになり、これからの女学院の将来など熱く語っておられる姿を見て、このような熱心な先生方に囲まれて学生生活を送っていたのだと今更気づき、福岡女学院で過ごせたことに感謝しなければいけない

なと思いました。

卒業後も女学院に関わっている方や卒業後同窓会で初めて女学院に戻ってきた方々ですが、この同窓会をきっかけにまた女学院と関わりを持ち、女学院のさらなる発展に微力ながら力になればと、考えております。

この同窓会の開催にあたり、ご協力いただいた藤校長先生、二田先生をはじめ、準備にあたり、立ち上げから当日の準備まで丁寧なアドバイスをしていただいた同窓会事務局の方々、同窓会本部の方々、本当にありがとうございました。また、準備にあたり協力してくれたお二人、当日の朝からの会場準備、後片付けなど快くお手伝いしてくれた同窓生の皆さん、本当にありがとうございました。無事に同窓会を終え、感謝の気持ちでいっぱいです。

同窓生の皆さん！当日、お忙しい中、沢山お集まりいただき、本当にありがとうございました。とってもしっかりと沢山おられましたので、またいつの日か再会できることを楽しみにしております。

「ぶどうの樹」は、楽しい時も、悲しい時も、うれしい時も、つらい時も、きつと、ずつと、つながっているとあります。

ありがとうございました。



50年目の卒業式

S41年高卒 岩槻 爽子

それはまるでタイムマシンに乗ってはずなのに、別世界に辿り着いたような感覚でした。スクールバスで通ったガタガタ道は全てきれいに舗装され、田圃ばかりが広がっていた景色は家々が建ち並び、「街」になっていました。

そして学校の門を抜けると懐かしい顔ぶれが……けれど彼女達の名前がすぐ出てきません。そのうち、はっと当時から50年を経た今の自分に戻りました。毎朝、朝礼があつた講堂は、パイプオルガンが入り、椅子も衣装替えされて以前の面影はなくても、座っていると全国の牧師様のお話しや、ピアノ、バイオリンのコン

サート、オペレッタや能など沢山の思い出が蘇つて参りました。50年以上前まだ日本が貧しかった時代にこの素晴らしい学校で学べたことへの感謝を両親に思いながら可愛い卒業生を見送っていると、涙が出て参りました。このような機会を頂いたこと、同窓会役員の皆様の暖かいご配慮に、本当に感謝の気持ち一杯です。ありがとうございました。



卒業生の皆様へ

吉田修作先生 最終講義の
お知らせ

吉田修作先生最終講義
(2018年1月20日)のお知らせ

福岡女学院大学人文学部教授
吉田修作先生の最終講義が
行われます。
卒業生の皆様、どうぞおいでください。
(予約等は必要ありません。)



講義題目:「日本神話について」

日時 2018年1月20日(土) 15:15~16:45 会場 211教室

なお、講義後、茶話会を予定しております。

ご質問等ございましたら、下記アドレスまでご連絡ください。
人文学部言語芸術学科事務室：fjgengo@gmail.com

聖福寮



◆引揚孤児と「福岡友の会」の女性達
この写真は昭和22年7月号の「婦人之友」に掲載された。(昭和21年11月2日撮影／石賀信子提供)
「博多湾引揚」図書出版のぶ工房九州アーカイブズBあれから七十年より転載

戦後、親を失った孤児達が引揚げ船から博多港に降りて来ました。栄養失調で足が弱ってまともに歩けず、這うようにして歩く子供達、その子供たちのお世話を福岡女学院の生徒達がしてくれていました。小児科医の山本良健院長の次女、朝山紀美さんが当時のことを書いて下さいました。

「福岡女学院同窓会 前会長 栗山昌子／S30年高卒」

S36年高卒

朝山 紀美

終戦から1年目の昭和21年8月15日に、博多の街中にある聖福寺の片隅にバラック造りの聖福寮は建てられました。当時、博多港には1年でおよそ139万人の引揚者が上陸しました。また、その中には、戦争孤児となった1500人も含まれています。全国では引揚者は660万人と言われています。私の家も朝鮮から全員引揚げてきました。父は朝鮮の大学の小児科医師で、大学の同士仲間と引揚援護活動に従事していました。荒廃した港の混乱の中、特に栄養失調の孤児達の状況は深刻でした。国に対策はなく、見かねた父達のグループは県に働きかけて、病気や疾病の孤児たちを収容する聖福寮が完成しました。

いで一刻も早く始めよ」との伝言が届きます。この呼びかけに応じ、20代の娘さん達が各地から参加しました。母親に代わる愛情溢れる保母達の働きが求められたのです。

まだ食料もなく自身の生活も不自由な時代でした。父達にとっては見知らぬ土地での生活の基盤のない不安な再出発の中での、福岡友の会の方々とのお会いは、幼く寄る辺もない孤児等に対する、使命感を共有した「不思議な出会い」でした。

胸に抱いた遺骨を手離さない子、身を守るため皆坊主頭の女の子、幼い弟に口移しで食べさせていた姉の弟の死、各々の悲しみを慰める言葉がないとの保母の嘆きがありました。未経験であった保母さん達は、懸命な学習と努力で孤児達のお世話をし、目の回る様な大変な日常は、平穩に明るい陽だまりの中であるかの様に守られました。全ての行事には周到な準備がなされ、いつの間にか大勢の女学院の関係の方々も加わっていたこ



朝山 紀美 さん

とを知りました。誠実で聡明な女性達の働く姿は、私達の様な子供の心に憧れと尊敬の思いを抱かせました。

聖福寮の孤児たちへの任務は、国の引揚げ事業の終了で7ヶ月で終わりました。その間164人が入寮し、その後身内に引き取られたのは114人。死亡したのは4人。その他の施設には40人が移動しました。その後、困難な生活の母親の子供達の為に、聖福子寮として尊い働きは続けられ、その後もいずみ保育となった昭和40年に惜しまれて閉鎖されました。

聖福寮は同じ使命によって引き寄せられ、幼き子供を慈しみ守る方々の出会いの場となりました。「報いを望まぬ人への与えよ」この主の賢き教えならずと讃えられ、今も心の中に、この任務は共にこの場で守れた子供たちの心にも響きまます。消されることなく語り継がれて記憶されています。

「神様が、子供を育てる様に私達を選んでお預けになったのでしよう」と石賀先生の言葉の中に私も加わっていた幸せをお伝えします。荒廃した時代に隠された献身は、福岡女学院の同窓生の記録としても記憶されることを願ってやみません。

大学国際キャリア学部国際キャリア学科1年生を対象にFURLA JAPAN 倉田 浩美(S60年短卒)代表取締役社長による特別講義が開催されました。

倉田氏は、英語科卒業後、地元福岡の会社に就職し、200万円の資金を貯め、学生時代得意であった英語を勉強したいと米国へ留学し5年間語学と会計学を学ばれました。卒業後は米国のコンサルティングファーム「プライスウォーターハウスクーパーズ(PwC)」に就職しアパレル業界に特化したコンサルティングチームに所属され約6年間マーケティングや財務の業務を経験されました。その後、GAP JAPANに転職され活躍の場を日本に移されます。



COACHが日本法人を創立するとの話を聞き「日本の事業拡大に携わりたい」と自ら社長へ職務経歴を送るなどアプローチを行い入社を果たされました。

倉田氏は「ない道は自ら造る」をモットーにしまさに実践されてきました。講義の中でもその当時の思いを熱く語られ、学生に向けて「英語が好きですか?しかし、これからは英語だけでなくにかプラスになるスキルを身につけ、ピンチをチャンスだと考え未来に向けて頑張ってください。」と後輩にエールを送ってくださいました。出席した学生もバイタリティーに溢れる倉田氏の話に熱心に耳を傾けていました。



2017年8月7日同窓会会館にて福岡女学院中高を卒業され、現在、舞台を中心に活躍されている内堀律子さんにインタビューしました。

— 女学院の一番の思い出は何ですか? —

中1から引退するまで授業が終わったらアンクラスでサッカーをして、土日は遠征や試合で休みがなかったです。でも、中高時代が一番、自分の中では勉強しました。夜は疲れて寝てしまうので、朝5時に起きて学校に行くまで勉強していました。

— サッカーをするきっかけは何ですか? —

兄がサッカーをしていました。男子の中でずっとやってはいたものの女子だけでサッカーをしたら絶対面白いと思っていました。

— 女学院で学んで、

活かせると思うことはなんですか?

芝居で海外の翻訳物を読むとき、キリスト教的な宗教感を理解することができました。毎日の生活の中でふと、聖書の中の言葉に触れたりすると聖書を開いて読み返してみたりします。学生の時には感じなかった聖句の持つパワーを感じて、今は哲学として面白いと思っています。

— 女優になったきっかけはなんですか? —

サッカー中心の生活をずっとやってきて、ある試合でもうここまでかな。と思うことがあり、引退を考えました。その時自分の中で「何でもできる!」と思えました。選択肢が広がったと。それなら楽しい方がいい。そこでひらめいたのが演劇でした。それまで、映画は観てましたが、舞台を観たことは一度もありません。もちろん芸能活動などもしたこともなかったのに、唐突に「演劇だ!!」と思っただんです。そこからは、実行あるのみで、今の劇団(文学座付属演劇研究所)を受けて合格して思っていたから1週間進路がきました。

— 周りの反対はありませんでしたか? —

ありませんでした。好きな事を応援してくれる家族に本当に感謝しています。でも友達には、女優になるとは言

えなくて、役者になると言っていました。劇団には受かりましたが、日々オーディションに受かるか、受からないかの心配があります。そんな時は先輩や友達に相談してパワーをもらっているうちに、「先の事はわからない!」つやつてやるか!」と思うようになり、自信もついてきて最近「女優です。」といえるようになりました。女優とは、記号みたいなものかと思っています。

今回、プライベートで学院を訪れていらしたところに無理をいってインタビューをさせていただきました。短い時間でしたが、楽しくお話しをうかがいました。自分自身で道を切り開いていく力強さをもった聡明な同窓生でした。

黒蜥蜴

原作/江戸川乱歩 脚本/三島由紀夫

演出/デヴィッドルヴォー

出演/中谷美紀 井上芳雄 相楽樹

朝海ひかる たかお鷹 成河 内堀律子

日生劇場 東京1/9/1/28

梅田芸術劇場メインホール 大阪2/1/2/5



内堀 律子 さん

福岡女学院中高H19年卒後福岡教育大学(スポーツ科学コース)を卒業。2013年まで、女子サッカー選手として活躍した後、東京の文学座付属演劇研究所へ入所。3年の養成期間を経て、2016年劇団員に昇格。同年4月上演の文学座アトリエ公演「野鴨」で初舞台、ヒロインに抜擢される。今後は女優として、舞台だけではなく、映像や様々なフィールドで活躍できるようにめざしている。



お知らせ情報

中学校・高等学校の入学特別選考について

学院「時報114号」でお知らせいたしました通り、中学校・高等学校の入試に関して、同窓会員の孫・子・妹については同窓会事務局窓口を通して関係書類を提出し、入学した場合は入学一時金の一部を奨学金として給付する制度があります。受験生と同窓生の関係を証明する書類(住民票等)と印鑑を持参され、所定備え付けの書類に記入押印のうえ同事務局に提出ください。詳細については同窓会事務局(092-575-2479)にお問い合わせ下さい。

進学・スポーツに活躍する学校を目指していますので、多くの卒業生の孫・子・妹が受験され、入学されることをお勧めいたします。よろしく願いいたします。

逝去

つつしんで哀悼の意を表し、主による平安をお祈りいたします。

2014.4.6	児玉	操 (中山)	S 5 女	2015.10.1	緒方	玲子 (緒方)	S 2 9 高
2016.7.10	藤居	節子 (井手)	S 9 女	2017.1.16	楠本	節子 (久家)	S 2 9 高
2016.4.10	宇野	義子 (小河)	S 9 専	2017.4.2	林	靖子 (岡本)	S 3 0 高
2017.6.19	馬場	トシ (稲田)	S 1 0 女	2017.3.28	谷	鈴子 (柴田)	S30高S31専
2016.9.12	杉江	尚子 (川野)	S 1 0 女	2017.5.1	藤	小夜子 (藤)	S 3 1 高
2013.10.24	西岡	雪江 (西岡)	S 1 0 女	2017.1	柏木	徳子 (太田)	S 3 3 高
2014.5.16	矢部	住子 (矢部)	S 1 1 女	2017.7.16	井口	登美子 (西村)	S 3 3 高
2015.7.29	大西	節子 (宮崎)	S 1 2 女	2017.4.10	坂田	美宥子 (中尾)	S34高S35専
2017.5.7	篠原	緑江 (小沢)	S 1 3 女	不 明	後藤	延枝 (樋口)	S 3 4 高
2016.2.13	岩田	純恵 (徳永)	S14女S15専	2016.1.13	緒方	まり子 (緒方)	S 3 5 高
2015.5.18	賀来	マリ子 (水之江)	S 1 5 女	2017.6.7	中村	有瀾子 (久我)	S 3 5 高
2017.2.10	Virginia Norrix	(鶴原)	S 1 6 女	2015.5.10	大賀	美智代 (松尾)	S 4 0 高
2012.4	杉原	瑤 (足立)	S17女S18専	不 明	吉村	恵子 (鬼木)	S44高S46短
2016.4.9	新野辺	澄子 (鍋田)	S 1 7 女	2013.4	木村	美樹子 (大楠)	S 4 5 高
2017.4.26	中沢	千恵子 (水頭)	S18女S19専	2016.4.3	佐野	珠子 (天本)	S 4 5 短
2017.8.22	岡崎	ユウ (岡崎)	S 1 9 女	2016.11.13	山本	晴海 (倉掛)	S 4 7 短
2016.7	稲沢	成子 (白井)	S 1 9 女	2012	中村	桂子 (市来)	S 4 8 高
2005.12.6	下澤	澄子 (下澤)	S 2 0 女	2017.1.3	服部	純子 (田井)	S 5 0 短
2016.11.24	斉藤	嘉子 (藤本)	S20女S22専	2017.11.8	米今	久美子 (岡)	S 5 1 高
2016.12.9	野口	久美子 (安永)	S 2 0 女	2016	田中	三華 (永利)	S 5 1 高
2016.12.10	佐藤	靖子 (伊藤)	S 2 1 女	不 明	増田	博子 (諸江)	S 5 1 高
2016.10.22	石橋	美津子 (福田)	S 2 2 女	2014.12.26	和田	栄子 (和田)	S 5 4 短
2014.11	伊藤	公子 (大西)	S 2 4 女	2017.3.12	浦山	朱実 (真海)	S55高S57短
2016.9.26	古賀	整枝 (山脇)	S 2 5 高	2017.7.3	檜崎	亜弥 (檜崎)	S 5 8 高
2016.5.10	長野	ナツ子 (生島)	S 2 6 高	2016.1	渡邊	めぐみ (渡邊)	H 1 7 大
2016.1.25	吉田	裕子 (榊)	S 2 7 高				

※ () 旧姓です。※卒年順です。

HISTORY OF MISSION

福岡女学院資料室
Fukuoka Jo Gakuin Archives

福岡女学院の

“新たな歴史”の発掘を目指して

学院資料室講師／井上 美香子

125周年記念館6階にある学院資料室を訪れたことがある方も多いかと思います。昨年4月より、学院資料室では資料の調査、整理等に本格的に取り組み始めました。

福岡女学院の歴史といえば、“セーラー服”の存在を挙げる人も多いでしょう。しかし、資料室に所蔵している諸資料は、福岡女学院がこれまで歩んできた数多くの注目すべき歴史をわたしたちに教えてくれます。それは、日本、そして世界で活躍する女性を育ててきた歴史でもあり、福岡の地でキリスト教教育を担ってきた歴史でもあり、女子教育への挑戦の歴史でもあったともいえます。

こうした福岡女学院の“新たな歴史”を発掘するために、資料の山のなか、学院資料室で日々奮闘しております。資料の整理には、本学院の学生さんにもお手伝いいただき、在学生の皆さんの協力も得ながら、作業をすすめております。

昨年の10月には、学院資料室のホームページ(<http://www.fukujo.ac.jp/archives/>)も開設、福岡女学院の歴史を学外に発信いたしております。ホームページでは、「学院写真館」として福岡女学院の歴史的写真も掲載しておりますので、是非一度ご覧ください。もちろん、ホームページの内容につきましては、今後、より一層の充実を図る予定です。

学院資料室では、今後も皆様と一緒に、福岡女学院の“新たな歴史”の発掘を目指してまいります。どうぞご期待ください！

福岡女学院の資料や、資料に関する情報をお寄せください

福岡女学院の“新たな歴史”を発掘していくために、学院資料室では福岡女学院に関する以下のような資料を探しております。



生徒・学生たちが作成した印刷物、
クラブやサークルの大会記念品



合格通知、学生証、卒業証書、成績表

- 学院刊行物 / ● 生徒手帳、授業ノート / ● 校章、開学記念品
- 学院に関係する写真(人物・建物・構内風景等)、フィルム・ビデオ映像、パンフレット・ポスター・絵葉書
- 卒業アルバム(特に明治期、大正期、昭和14年、16年、19～25年、45年～48年を探しています)、
当時の記念写真やスナップ写真、フィルム・ビデオ映像

大正～昭和初期のセーラー服・制帽を探しています！

この時期のセーラー服に関する情報をお持ちの方、福岡女学院資料室までご連絡をお願いいたします。

※お持ちの資料には、貴重なものや思い出の品でお手元に置かれたいものなどもありかと思ひます。
ご寄贈でなくても資料の複写等のご相談をさせていただけるだけでも大変ありがたいです。
ぜひ情報をお寄せください！



展示室
開室時間

月曜日～金曜日 9時30分～16時30分
※展示室は、どなたでもご覧になれます。
※土・日・祝祭日、年末年始の休日、
その他学院の休業日はご利用できません。

お問合せ
資料の寄贈等窓口

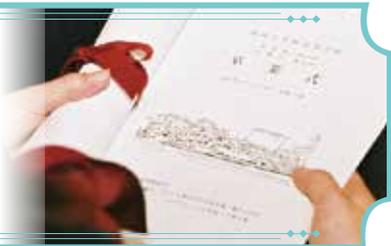
〒811-1313 福岡市南区日佐3-42-1
福岡女学院総務課 資料室まで
TEL 092-581-1492(学院代表)

卒後50年の同窓生の卒業式招待

卒後50年を記念して、母校の卒業式にお招きします。今年は**S42年高卒**の皆さま方です。どうぞお楽しみに。当日は式後、同窓会センターにて軽食の準備をしております。

日時 **2018年3月1日 木**
10:00~

場所 **ギール記念講堂**



卒後25年同窓会のご案内

創立記念日に高校卒業後25年の同窓会開催を支援しています。今年**H5年高卒**の皆さまです。当日、お子様同伴も大歓迎です。お誘いあわせのうえ、ご来会ください。

日時 **2018年5月19日 土** *詳細につきましては、別途ご案内させていただきます。



福岡女学院 創立133周年

同窓会 ホームカミング&バザー

2018年5月19日 土 10:00~15:00

メイポールダンス終了後
同窓会センターにてお茶とお菓子をどうぞ

卒業生による手作り品バザー・ミッショングッズ等を販売致します。懐かしい先生方やお友達と楽しいティータイムをお過ごしてください。どなたでもお越しいただけますのでお誘いあわせのうえ、是非お越しください。



The 36th Georg Friedrich Händel Messiah

「第35回メサイア」を無事盛会の内に終了できましたことを心より感謝申し上げます。

さて、今年も「第36回メサイア」を開催いたしますので、皆様お誘い合わせのうえご参加くださいますようご案内申し上げます。

第36回 メサイア

2018.12.22(土) 開場/16:00 開演/16:30

会場 アクロス福岡 シンフォニーホール

合唱団員募集

受付期間:2018年7月1日~31日

申し込み方法:はがき、電話、ファックス、Eメール

申し込み内容:名前、住所、電話、声楽パート、卒業年度、メサイア経験の有無

※これまでに参加された方も、毎年のお申込みをお願いします。

申込先

〒811-1313
福岡市南区日佐3丁目42-1 福岡女学院 総務課 宛
TEL:092-581-1492 FAX:092-575-2480
E-mail:messiah@fukujo.ac.jp

編集後記

ぶどうの一粒

今回、会報「ぶどう」の表紙は昨年の当番学年によるデザインを使用させて頂きました。

原稿をお寄せくださいました方、それぞれのかたちで協力くださいました全ての方々に心より感謝いたします。

同窓会としては学院の近況や同窓生の活躍、身近な活動を少しでもわかりやすくお知らせしようと、試行錯誤していますが、なかなか伝え

られない部分もたくさんあります。

是非とも学院に来ていただいて、現在の母校の姿をご自分の目でご覧になってください。きっと何かを想い出されることでしょう...

今後は次回の「ぶどう」24号発行に向けて広報部一同、努力してまいります。行き届かない事があるかと思いますが皆様のご協力よろしくお願いたします。(広報部:末吉恵子/岩瀬由美/森奈都美/古賀真理子)

皆さまの声をお聞かせください。ご意見、ご感想をお待ちしています。

●福岡女学院同窓会会報「ぶどう」第23号 2018

福岡女学院同窓会

〒811-1313 福岡県福岡市南区日佐 3-42-1
TEL・FAX(092)575-2479
【URL】 <http://www.fukujo.ac.jp/alumnae/>
【E-mail】 alumnae@fukujo.ac.jp

福岡女学院 同窓会

検索

■個人情報取扱いについて

2005年4月より、個人情報保護法が制定されました。個人情報を取り扱う同窓会事務局としましても、慎重に皆様の会員データを管理しております。懐かしいお友達へのご連絡など、事務局へ沢山のお問い合わせがございますが、必ずご本人様への確認をさせていただいた上でお答えしております。同窓会会員には同姓同名の方が多くいらっしゃいます。データ管理の間違いを防ぐために生年月日のご確認をさせていただきます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

住所・氏名変更、同窓会会費その他お問い合わせ、ご連絡は同窓会事務局へ(受付時間:月~金 午前10:00~12:00/午後13:00~16:00)